



<ベトナム・リサーチ・レポート>

情報は提供資料

2023年7月28日

2023年上半期の青果物の輸出額は過去最高額 26.8 億米ドルを記録

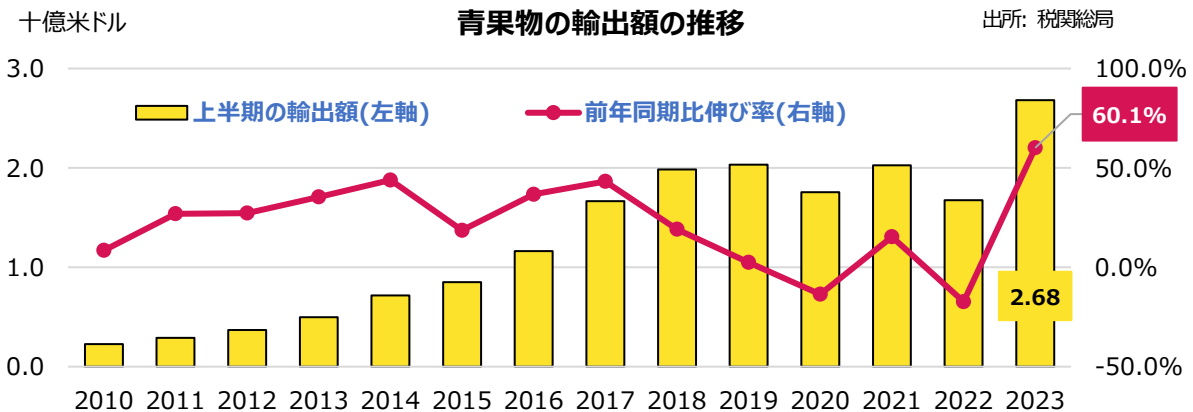
ベトナムからの青果物の輸出額が記録的な水準と伸びを示している。同国税関総局によると、2023年上半期の青果物の輸出額は26.8億米ドルに達した。前年同期比で60.1%という伸び率は、2010年以降で最高水準である。

この要因として、①輸入側である諸外国にベトナムの青果物への需要があることに加え、②中国が新型コロナウイルスを抑え込む「ゼロコロナ政策」の解除後に経済・貿易活動を再開し、ドラゴンフルーツやマンゴー、ドリアン、ジャックフルーツ、ライチをはじめ青果物の輸入を急速に拡大していること、③自由貿易協定（地域的な包括的経済連携

RCEP、環太平洋経済連携協定 TPP11、ベトナム・韓国自由貿易協定 VKFTA、日越経済連携協定 VJEPA）を活用し、カナダやオーストラリア、日本、アセアン諸国等への青果物の輸出が促進されていることなどが挙げられる。



写真提供：商工省、CPVN



輸出先別にみると、輸出額第1位は中国 17.6 億米ドル（前年同期比 2.22 倍、全体に占める割合 65.9%）、2位は米国 1.2 億米ドル（同 13.7%減、同 4.4%）、3位は韓国 1.1 億米ドル（同 12.3%増、同 4.0%）、4位は日本 8,730 万米ドル（同 4.9%増、同 3.3%）、5位はオランダ 7,837 万米ドル（同 66.8%増、同 2.9%）だった。マレーシア、ドイツ、イギリス向け輸出もそれぞれ前年同期比 23.9%、25.0%、28.3%増加している。

ベトナム政府が先進技術・国際基準の適用や、高収量かつ高品質の作物の栽培促進に重点を置いていることにより、果樹栽培面積や収量が過去 5 年間で大きく増えている。農業農村開発省が 22 年 10 月に承認した「2030 年までの主要果樹開発プロジェクト」によれば、2030 年までに果樹栽培面積 130 万ヘクタール（今年 6 月末時点 122 万ヘクタール）へ、収量は 1600 万トン（現在年間 1300 万トン）へ、輸出額は 65 億ドルに拡大させる目標が設定されている。ベトナムからの青果物の輸出額は今後も拡大を続けるであろう。

以上

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。